

東日本大震災 対策本部情報	53号	2011/04/6 14:45現在
------------------	-----	----------------------

各地本委員長殿

清野社長が記者会見で明言！

「被災した7線区は責任をもって復旧させます！」

4月5日、JR東日本・清野社長は記者会見を行いました。

記者会見では大震災での被害状況、さらに復旧の目途など多岐にわたっての質問がされました。会見途中、記者からは「気仙沼線など被害の多かった路線の沿線住民は、線路が廃止になってしまうのではないかと、今後の行方を心配している。全部、復旧するのか、それとも廃線という議論につながっていく可能性もあるのか」という質問が出されました。これに対し、清野社長は「私が責任をもって復旧させます。責任者として、これが答えです」とはっきりと答えました。

さらに具体的には、街づくりはどうかとの関係で議論しながら進めていきたいと回答しています。（「毎日新聞」掲載）

いま線路が流出し、駅舎が壊滅状態になるという状況のなか、地域の住民の方々も、今後どうになってしまうのか、不安をもっています。もちろんそこで働く組合員も思いは同じです。地域の方々に元気を取り戻してもらうためにも、また一日も早い復旧をめざし、頑張っている組合員にとって、被災線区の復旧は悲願です。

清野社長の見解を一刻も早く実現していくためにも、組織一丸となって、震災に負けず、前進していきましょう！

以上

東日本旅客鉄道労働組合 中央本部